

みずほCustomer Desk Report 2022/01/14号(As of 2022/01/13)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	114.68
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	114.68	1.1440	131.20	1.3708	0.7281
SYD-NY High	114.70	1.1482	131.42	1.3749	0.7314
SYD-NY Low	114.00	1.1436	130.63	1.3698	0.7274
NY 5:00 PM	114.17	1.1454	130.73	1.3708	0.7281

NY DOW	36,113.62	▲ 176.70	日本2年債	-0.0800	0.00bp
NASDAQ	14,806.81	▲ 381.58	日本10年債	0.1300	1.00bp
S&P	4,659.03	▲ 67.32	米国2年債	0.8929	▲ 2.80bp
日経平均	28,489.13	▲ 276.53	米国5年債	1.4704	▲ 4.94bp
TOPIX	2,005.58	▲ 13.78	米国10年債	1.6997	▲ 5.11bp
シカゴ日経先物	28,305.00	▲ 375.00	独10年債	-0.0890	▲ 2.95bp
ロンドンFT	7,563.85	12.13	英10年債	1.1040	▲ 3.30bp
DAX	16,031.59	21.27	豪10年債	1.8460	0.00bp
ハンセン指数	24,429.77	27.60	USDJPY 1M Vol	6.01	0.07%
上海総合	3,555.26	▲ 42.17	USDJPY 3M Vol	6.28	0.10%
NY金	1,821.40	▲ 5.90	USDJPY 6M Vol	6.58	0.15%
WTI	82.12	▲ 0.52	USDJPY 1M 25RR	-0.63	Yen Call Over
CRB指数	242.899	▲ 2.30	EURJPY 3M Vol	6.65	0.05%
ドルインデックス	94.79	▲ 0.13	EURJPY 6M Vol	6.97	0.07%

東京	東京時間のドル円は114.68レベルでオープン。前日の米CPI発表後のドル売りも一服し、朝方から114.70まで上昇するも、日経平均の軟調な動きを横目に上値は重く推移。取引閑散かつブレイナートFRB副議長の公聴会も控えて様子見色が強まる中、114.60を挟んで上下10銭程度のレンジ展開となり、114.62レベルで海外時間へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、114.62レベルでオープン。本日も比較的堅調な欧州株を横目にドルの弱い推移となりドル円は下落方向でもみ合い。114.24-65で取引され114.36レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場は引き続きドル売りが継続したことから、ドル円は上値を切り下げ114.24まで下落し、114.36レベルでNYオープン。朝方は米12月PPIがヘッドラインが予想を下回るものの、前回分が上方修正され、コアは予想と一致したがこちらも前回分が上方修正されたことから強めの結果に見えた。同時に発表された新規失業保険申請件数が予想を上回る中、ハーカー・フィッセル連銀総裁が今年は3回か4回の利上げを見込んでいることが伝わったが、ドル売りが継続し上値は重く、114.18まで下落する。その後ブレイナート理事が公聴会で「Fedは行動によりインフレを引き下げる自信がある」等の発言が伝わる中、ショートカバーに114.36まで戻すものの、米長期金利が低下し、ドル円は114.00まで下落する。午後はバーキン・リッチモンド連銀総裁の「必要あれば3月に正常化をスタートすることもできる」との発言や、ハト派で知られるエハンス・シカゴ連銀総裁の「今年は2~4回の利上げの可能性」との発言が伝わり、ドルが買われる展開に、ドル円はやや値を戻し、114.17レベルでクロスした。一方、ユーロドルは海外市場でドル売りが継続したことから1.1478まで上昇し、1.1459レベルでNYオープン。朝方はドル売りが継続し1.1482まで上昇する。しかし心理的な節目である1.15抜けを目前にユーロドルの利益確定の売りが持ち込まれ、1.1447まで反落。午後は1.1472まで戻す局面もあったがドルが買い戻される動きにユーロドルはじり安で推移し、1.1454レベルでクロスした。(NY井上)

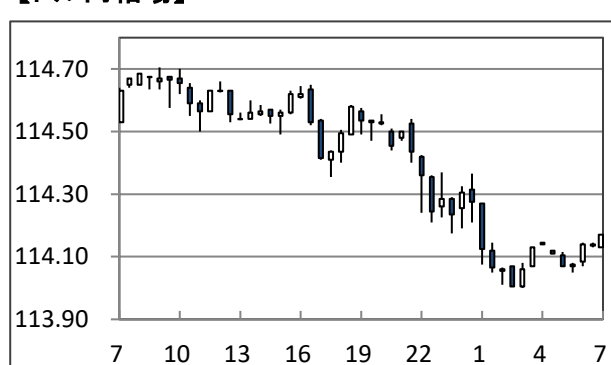
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月13日	22:30	米 PPI(前月比/前年比)	12月 0.2%/9.7%	0.4%/9.8%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	8-Jan 230k	200k

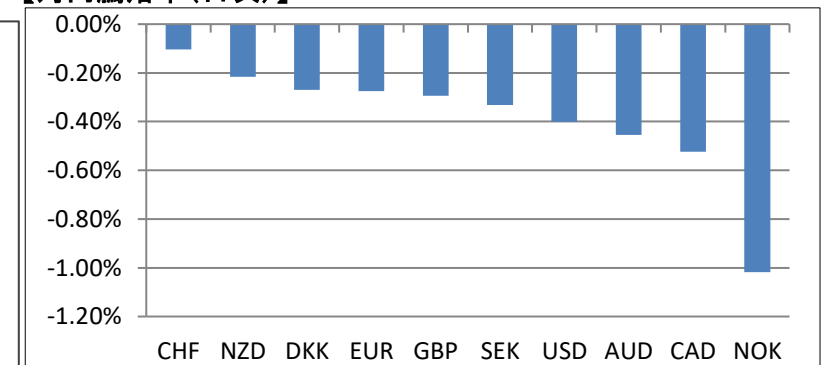
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月14日	22:30	米 小売売上高速報(前月比)	12月 -0.1%	0.3%
	22:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	12月 0.1%	0.3%
	23:15	米 鉱工業生産(前月比)	12月 0.2%	0.5%
1月15日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	1月 70.0	70.6

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.50-114.50	1.1400-1.1500	130.00-131.00

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間はドル売りが優勢となり、ドル円は一時114円近辺まで下落する場面も見られた。米12月PPIや新規失業保険申請者件数などの経済指標が予想比悪い結果となったことなどがドル売りを後押しした。

一方で、昨晩は米高官の金融政策に関する発言が相次ぎ、高インフレへの対処の必要性や3月利上げ開始への言及など、金利引き上げに前向きな姿勢が多々示されたが、相場への影響は限定的だった。

本日の相場は昨日の流れを引継ぎドル売りが継続すると予想。特に、株価の動向と本日発表の経済指標が悪化する局面では、ドルがさらに下落する可能性を想定している。本日は、米12月小売売上高やミシガン大学消費者信頼感指数などの発表が予定されている。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。